

公表	事業所における自己評価総括表		
----	----------------	--	--

○事業所名	こどサボ古河教室		
○保護者評価実施期間	令和7年12月1日 ~ 令和7年12月31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21名	(回答者数) 10名
○従業者評価実施期間	令和7年12月1日 ~ 令和7年12月31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・利用児童と職員との距離感がよい。 ・利用児童の特性が理解できている。	・利用児童の自主性を意識させながら療育を行っている。	・自己表現の機会を確保できるようにして、 更なる自主性の向上を目指す
2			
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・制度や活動内容の周知	・職員を基準より多く配置しているが、運動療育を行っているため、事故防止の観点から療育中の撮影や連絡帳の当日記入（業務の振り返りは終礼の際に必ず行い、連絡帳は翌日の午前中に作成する。）は行っていない。トラブル等が発生した際には、防犯カメラの映像等を保護者に提供してその都度対応している。	・左記した、内容について大きな変更は考えていないが、長期休み等で、事業所内のイベントを行った際には、活動内容の周知のついで、教室通信や保護者SNS等への動画配信等を行いたい。
2			
3			

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどサボ創育舎			
○保護者評価実施期間	令和7年12月1日 ~ 令和7年12月31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22名	(回答者数)	14名
○従業者評価実施期間	令和7年12月1日 ~ 令和7年12月31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数)	3
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月20日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・利用児童と職員との距離感がよい。 ・利用児童の特性が理解できている。 ・活動の内容が多岐にわたり、様々なバリエーションの療育を行える	・利用児童の自主性を意識させながら療育を行っている。 ・集団行動の際の一斉指示への対応力の向上を目指す。 ・他者への気遣いを意識させ、円滑なコミュニケーションの習得を目指す。	・自己表現の機会を確保できるようにして、 更なる自主性の向上を目指す
2			
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・制度や活動内容の周知	・職員を基準より多く配置しているが、運動療育を行っているため、事故防止の観点から療育中の撮影や連絡帳の当日記入（業務の振り返りは終礼の際に必ず行い、連絡帳は翌日の午前中に作成する。）は行っていない。トラブル等が発生した際には、防犯カメラの映像等を保護者に提供してその都度対応している。	・左記した、内容について大きな変更は考えていないが、長期休み等で、事業所内のイベントを行った際には、活動内容の周知のついで、教室通信や保護者SNS等への動画配信等を行いたい。
2			
3			

公表	事業所における自己評価総括表		
----	----------------	--	--

○事業所名	こどサボ創育舎プラス		
○保護者評価実施期間	令和7年12月1日 ~ 令和7年12月31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21名	(回答者数) 9名
○従業者評価実施期間	令和7年12月1日 ~ 令和7年12月31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・利用児童と職員との距離感がよい。 ・利用児童の特性が理解できている。 ・活動の内容が多岐にわたり、様々なバリエーションの療育を行える	・利用児童の自主性を意識させながら療育を行っている。 ・集団行動の際の一斉指示への対応力の向上を目指す。 ・他者への気遣いを意識させ、円滑なコミュニケーションの習得を目指す。	・自己表現の機会を確保できるようにして、 更なる自主性の向上を目指す
2			
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・制度や活動内容の周知	・職員を基準より多く配置しているが、運動療育を行っているため、事故防止の観点から療育中の撮影や連絡帳の当日記入（業務の振り返りは終礼の際に必ず行い、連絡帳は翌日の午前中に作成する。）は行っていない。トラブル等が発生した際には、防犯カメラの映像等を保護者に提供してその都度対応している。	・左記した、内容について大きな変更は考えていないが、長期休み等で、事業所内のイベントを行った際には、活動内容の周知のついて、教室通信や保護者SNS等への動画配信等を行いたい。
2			
3			